

JIS

情報技術－プロセスアセスメント－ 概念及び用語

JIS X 33001 : 2017

(ISO/IEC 33001 : 2015)

(IP SJ/JSA)

平成 29 年 10 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第二部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	伊 藤 智	国立研究開発法人産業技術総合研究所
(委員)	青 木 裕佳子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	稲 垣 浩	総務省行政管理局
	岩 田 秀 行	日本電信電話株式会社
	榎 本 義 彦	日本アイ・ビー・エム株式会社
	山 田 美佐子	一般財団法人日本消費者協会
	小 野 文 孝	東京大学
	紅 林 孝 彰	日本銀行金融研究所
	神 保 光 子	日本電気株式会社
	菅 野 育 子	愛知淑徳大学
	鈴 木 正 敏	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	足 立 朋 子	株式会社東芝
	西 山 茂	新潟国際情報大学
	中 西 悦 子	総務省情報通信国際戦略局
	三 宅 滋	株式会社日立製作所
	福 田 泰 和	一般財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 29.10.20

官 報 公 示：平成 29.10.20

原 案 作 成 者：一般社団法人情報処理学会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3431-2808)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第二部会 (部会長 大崎 博之)

審議専門委員会：情報技術専門委員会 (委員長 伊藤 智)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際電気標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
3.1 プロセス及びプロセス管理用語	2
3.2 プロセスアセスメント用語	3
3.3 プロセスモデル関連用語	5
3.4 プロセス測定関連用語	7
4 規格類一式の構成	8
5 概念	11
5.1 一般	11
5.2 “プロセス” の概念	11
5.3 アセスメントの枠組み	11
5.4 組織的プロセス成熟度	14
5.5 アセッサの適格性	14
5.6 アセスメント結果の利用	14
6 プロセス能力のアセスメント	15
7 適合性	16
8 適合性評価	16
附属書 A (参考) JIS X 330xx 規格類と JIS X 0145 規格類との対応表	17
参考文献	19
解 説	21

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人情報処理学会（IPSI）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

ソフトウェア開発を主たる対象としたプロセスアセスメント手法をセキュリティ、セーフティ、サービスなど、より広い範囲に適用するべく、国際規格 ISO/IEC 15504 シリーズ（JIS X 0145 シリーズ）の枠組みが見直されて、ISO/IEC 33000 シリーズへの移行及び再構築が行われており、これに対応して、この規格の制定を行った。

これによって、JIS X 0145-1:2008 は廃止され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

情報技術—プロセスアセスメント—概念及び用語

Information technology—Process assessment—Concepts and terminology

序文

この規格は、2015年に第1版として発行されたISO/IEC 33001を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

この規格では、一連の関連する規格全体を総称する場合は、“規格類”と呼ぶ。“JIS X 330xx 規格類”には、“X 330xx”の規格番号で発行されたJISを含み、“ISO/IEC 330xx 規格類”には、“330xx”の番号で発行されている規格及び“330xx”の番号付けが予定されている未発行の規格を含む。また、JIS X 330xx 規格類及びISO/IEC 330xx 規格類は、JIS X 0145 規格類及びISO/IEC 15504 規格類を置き換え、拡張するものであるが、JIS X 0145 及びISO/IEC 15504 の各部と新しい規格との対応関係を附属書Aに示す。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、プロセスアセスメントに関する基本用語を規定する。この規格は、プロセスアセスメントの概念、プロセス品質特性の達成を評価するためのプロセスアセスメントの応用、及びプロセス管理を指揮するためのプロセスアセスメントの結果の応用について、一般的な情報を提供する。この規格は、JIS X 330xx 規格類の導入部である。JIS X 330xx 規格類の各規格をどのように組み合わせるかの選択及び使用の手引を記載している。この規格は、JIS X 330xx 規格類を含む要求事項を説明し、アセスメント実施にどう適用するかを説明している。

この規格の利用者は、この規格類の用語及び構造に精通することが望ましい。さらに、アセスメントを実施しようとする背景に合わせて、この規格類の適切な規格を参照することが望ましい。

注記 1 この規格は、ISO/IEC 33001 から ISO/IEC 33019 までで用いる用語に対応している。ISO/IEC 33020 から ISO/IEC 33099 までに対応する用語はそれぞれの文書で定義する。

注記 2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO/IEC 33001:2015, Information technology—Process assessment—Concepts and terminology (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。

ISO/IEC/IEEE 24765:2010, Systems and software engineering—Vocabulary